

令和8年度地域防災指導員養成講座 静岡県の災害医療について

令和8年7月4日
静岡県中部健康福祉センター地域医療課

1 平常時の医療体制と役割

1-1 地域の医療体制

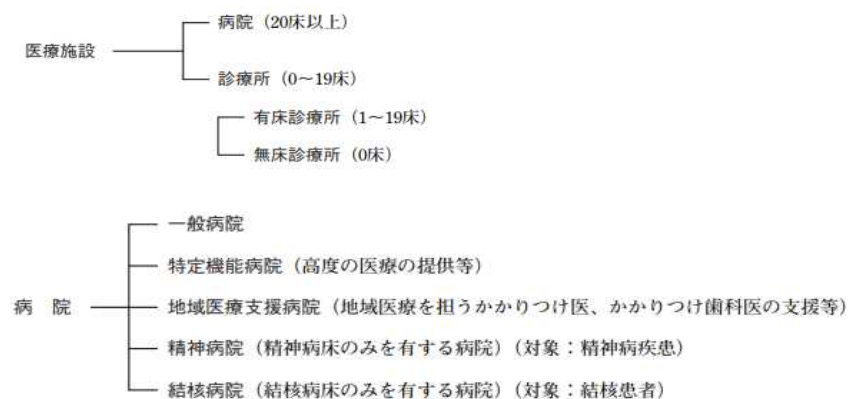
- ・病院と診療所
- ・医療従事者の状況
- ・救急医療

1-2 地域医療の今後

- ・医療や介護に関する「2040年問題」
- ・地域包括ケアシステム

1-1 地域の医療体制（平常時の医療体制と役割）

・病院と診療所



1-1 地域の医療体制（病床/医療従事者数）

・病床数及び医療従事者数

(令和7年8月末時点)

病院病床数	3,484床
診療所病床数	118床
医師数	835人

▶人口10万対病床数

病院病床数 管内 816.1 (静岡県1013.5)

▶人口10万対医師等数 (令和4年12月末届出数/令和5年10月)

医師	187.1 (静岡県 230.1)
歯科医師	52.4 (静岡県 64.5)
保健師	42.1 (静岡県 52.8)
助産師	20.8 (静岡県 30.3)
看護師	882.8 (静岡県1003.7)

救急医療体制

	受診機関	概要
通常医療	かかりつけ医(病院、診療所)	患者本人が選択して受診
	地域の基幹病院(藤枝市立総合病院)	かかりつけ医の紹介により受診
初期救急	休日当番医	対象:比較的症状の軽い患者 【休日】 9:00~17:00
	志太・榛原地域救急医療センター(瀬戸新屋)	対象:比較的症状の軽い患者 夜間の救急医療に対応 【平日】 19:30~22:00 【土日】 19:30~翌日7:00
2次救急(入院救急医療)	藤枝市立総合病院(救命救急センター)	対象:入院や手術が必要な症状の重い患者
3次救急(救命医療)		対象:重篤な救急患者

・救急者出動件数
救急車出動件数は、令和6年度藤枝市で6,394件、焼津市で6,202件両市とも前年度(藤枝市6,366/焼津市6,182)を上回る

出典:令和6年度消防年報(志太消防本部)

	ポンプ車等 (R7.4.1)	特殊車両等 (R7.4.1)	救急車 (R7.4.1)	消防水利 (R7.4.1)	消防水利点検 (R6年度)
消防車両水利					
	水播付消防ポンプ車7台(1) 消防ポンプ車 4台(1) (1)は非常用消防ポンプ車	はしご車 2台 化学車 2台 大型水播車 1台 支援車 2台 救助工作車 2台	救急車 10台(2) (1)は非常用救急車	消防栓 4,729基 防火水櫃 409基 防火井戸 297基	回数 641回 総数 15,632基 延人員 2,464人
災害件数	火災 (R6)	救急 (R6)	救助 (R6)	119番通報 (R6)	火災原因 (R6)
	計 64件 藤枝市 27件 焼津市 37件	出動件数 12,608件 搬送件数 11,698件 搬送人員 11,730人	出動件数 52件 活動件数 39件 救助人員 41人	16,747件	1位 たき火 2位 タバコ 3位 電気機器

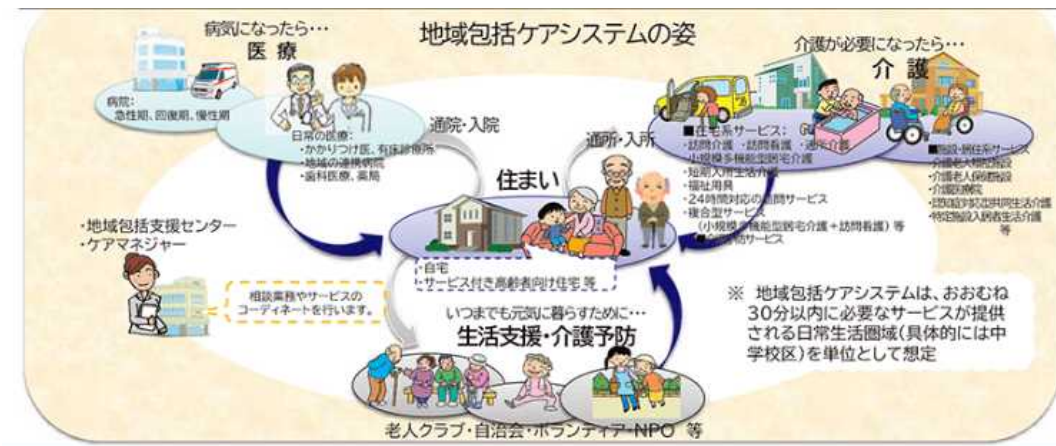
医療福祉分野における「2040年問題」では、65歳以上人口が過去最大に達し、支え手が減少する

①推計結果(人口動向年表)

図表 27-1 総人口・年齢3階層別人口の推計



介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる医療、介護、住まい、生活支援・介護予防が包括的に確保される体制「地域包括ケアシステム」を作っていく



2 災害時の医療体制と医療救護計画

2-1 地震の被害

- ・過去の大震災での被害
- ・第4次地震被害想定
- ・巨大地震発生時に陥る状況

2-2 医療救護計画

- ・災害時の県・市の医療救護体制
- ・受入体制
- ・災害拠点病院・航空搬送拠点
- ・広域医療搬送・広域受援
- ・医療救護等支援チーム

2-3 避難所の生活環境整備

2-4 支援の実際

南海トラフ巨大地震

死者298,000人 津波72%

首都直下地震

死者23,000人 建物倒壊・火災

(出典:内閣府防災情報のページ)

関東大震災 火災87%

阪神淡路大震災 建物倒壊による圧死等83%

東日本大震災 溺死91%

(出典:内閣府防災白書・東北大学災害科学研究所)

2-1 地震の被害(静岡県第4次地震被害想定概要)

静岡県第4次地震被害想定における被害想定概要

建物被害・人的被害(南海トラフL1、予知なし、発生時期3ケース)

建物被害	全壊・焼失	217千棟~260千棟
	半壊	224千棟~233千棟
人的被害 (早期避難高)	死者	5,900人~14,000人
	重傷者	20,000人~31,000人
人的被害 (早期避難低)	死者	9,000人~16,000人
	重傷者	20,000人~31,000人

ライフラインや生活への支障(南海トラフL1)

	機能支障率(%)	95%復旧見込
上水道	1週間後 58%	4週間程度
下水道	1週間後 7%	2週間程度
電力	4日後 6%	1週間程度
通信	1週間後 6%	1週間程度
都市ガス	供給停止率 76%	4週間程度
避難者	1週間後 1,221千人(うち避難所 613千人) 静岡市や浜松市を中心に収容力不足の可能性	

道路施設(緊急輸送路)

高速道路	緊急車両等の通行可能には1週間程度/以上を要する 一般車両の通行可能には1ヶ月以上を要する ただし、富士川断層帯付近は、さらに時間を要する
幹線国道	緊急車両等の通行可能には1週間程度/以上を要する 一般車両の通行可能には1ヶ月以上を要する 富士川断層帯付近は、迂回が必要である
その他道	1週間程度は県内全域で不通、交通規制 1ヶ月程度は一部区間で不通継続 橋梁損傷等による不通は1ヶ月以上に及ぶ

- ・ 山間部や伊豆西海岸、富士川河口断層帯付近の復旧は最も時間を要する
- ・ 沿岸部、沿岸部と内陸を結ぶ道路や伊豆地域の被害が比較的小さい

2-1 地震の被害(巨大地震発生時に陥る状況)

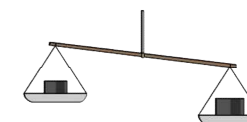
・巨大地震が発生したらどうなる？

- 119番通報しても、救急車は来ない。
- 病院は患者であふれかえってしまう。
(病院建物の被害、医療スタッフの被災)
- 市や県に助けを求めても、すぐには来ない。
(道路状況、人材不足、車両の確保等の諸問題)
- 医薬品、医療物資が不足する。

需要と供給のバランスが崩れる！



限られた資源をどのように使うか？!



静岡県医療救護計画の内容

- ・目的 基本的な考え方
- ・市町計画策定指針
- ・県広域計画
- ・医薬品等確保供給計画
- ・応援派遣体制

等が規定されています。

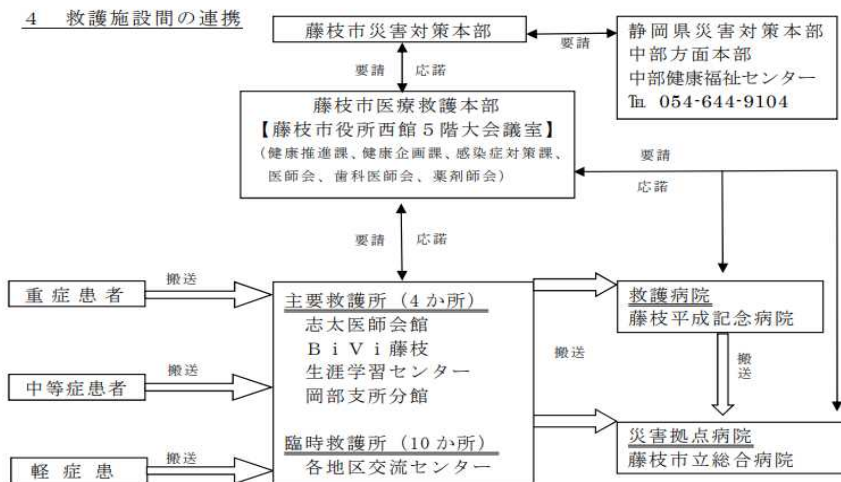
▶市町計画策定指針

- 市町は、救護所を設置する
- 市町は、救護病院を指定する
- 市町は、医療救護施設の機能が十分発揮できるよう、施設、設備、運営体制の整備に努める

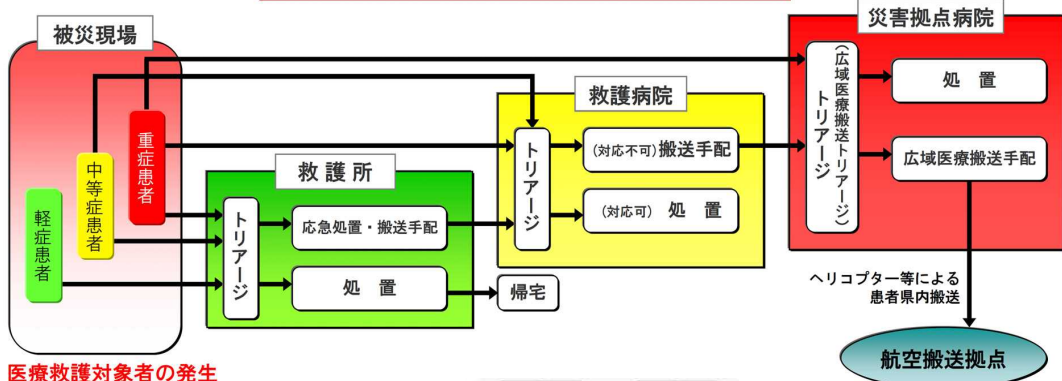


藤枝市医療救護計画の内容

- ・目的 基本的な考え方、医療救護本部、主要、臨時救護所、救護病院 医薬品等確保供給計画、応援派遣体制 等が規定されています。



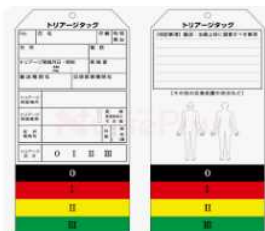
医療救護対象者の受入体制



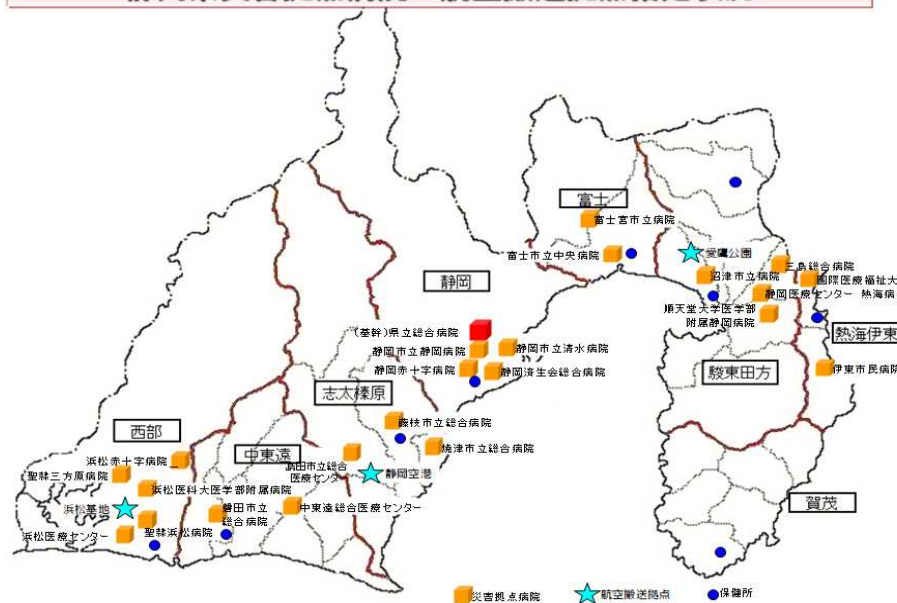
医療救護対象者の発生

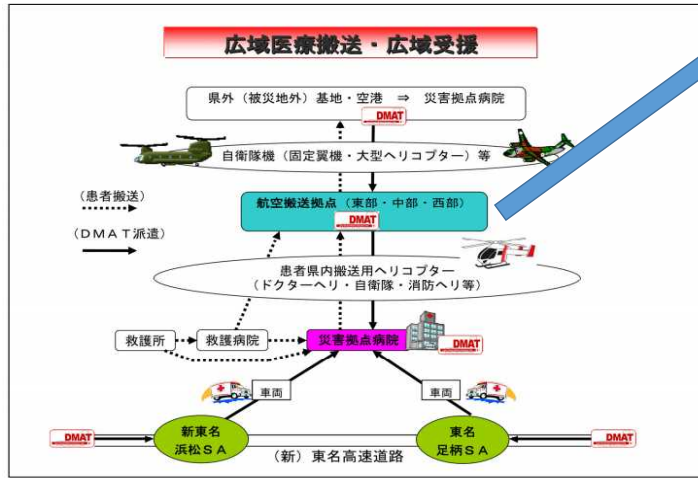
▶トリアージタグ

- 0(黒) 優先順位4位
- I(赤) 優先順位1位
- II(黄) 優先順位2位
- III(緑) 優先順位3位



静岡県災害拠点病院・航空搬送拠点指定状況





▶航空搬送拠点

(東部)
愛鷹広域公園
(中部)
静岡空港
(西部)
航空自衛隊浜松基地

空港搬送拠点に
SCUを設置

▶広域医療搬送対象患者

- ・頭・胸/腹部等に中等度の外傷がある患者
- ・身体の一部が家屋に挟まれた等の既往がある患者
- ・前進に中等度以上の熱傷がある患者

2-2 医療救護等支援チーム

DMAT	大地震等の災害の急性期(発生から概ね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた 災害派遣医療チーム
JMAT	日本医師会が発災から3日後くらいに被災地に派遣する 災害医療チーム 。現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支える。
日赤救護班	災害対策基本法に基づき定めた「日本赤十字社防災業務計画」により、本社及び各都道府県支部に常備している 救護班
DPAT	大規模災害等の後、被災地地域に入り、 精神科医療及び精神保健活動を行う専門チーム
AMAT	全日本病院協会が災害亜急性期に派遣する 医療チーム
DWAT	大規模地震等の発生時に、要配慮者への福祉的ニーズに対応するために構築した 災害派遣福祉チーム
JRAT	大規模災害時に、災害弱者や障害者、高齢者などが自立生活を再建できるように リハビリテーション支援を行うチーム
JDA-DAT	大規模災害時に、被災地での栄養、食生活支援活動を行う 日本栄養士会災害支援チーム

多くの避難者が殺到→避難所の混乱→避難所の生活環境が悪化、要配慮者への配慮不足→体調不良者が多発

*避難所の環境改善や多様な避難先等、避難所対策が急務

1 避難所の生活環境改善

TKB等への対応

*TKBとは、Toilet, Kitchin, Bedの頭文字で、避難所生活において災害関連死を防ぎ環境を改善するために重要な3つの要素
(段ボールベッドや間仕切り、トイレトラック、キッチンカー等)

感染症防止対策の充実

2 多様な避難先の確保

日常生活が継続できる在宅避難を基本としつつ、多様な避難先が選択できる(親類知人宅・避難所・自主避難所・車中泊避難・ホテルや旅館など)

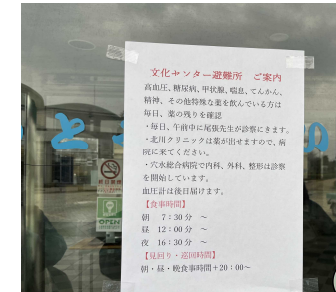
3 多様な避難者に配慮した避難所運営

被災者に寄り添った支援

能登半島地震

(穴水町 1月中旬)

- ・調整本部(町災害対策本部の支援) (右)
- ・公立病院(下左)
- ・避難所への医師巡回の掲示(下中)
- ・避難所への巡回(下右)



局地災害(R7.9.5台風15号:牧之原市・吉田町・焼津市)

・支援チーム

- 県保健師等派遣(世帯訪問)
- 被害地域居住の高齢者等訪問
- DPAT(災害派遣精神医療チーム)活動
- DWAT(災害派遣福祉チーム)活動

・調整会議

- 被災市町支援部局との連絡・情報共有
- 保健医療福祉調整会議への参画(一部市)



- ・地域災害医療対策会議
- ・災害医療コーディネーター
- ・訓練時の支援チームとの連携



3 まとめ

3-1 平常時及び災害時の医療体制

- ・病院機能と病床、従事者数
- ・救急医療、救急搬送体制
- ・今後の地域医療
- ・医療救護計画による災害医療救護体制
(受入体制・災害拠点病院・広域医療搬送・支援チーム)

3-2 メッセージ

- ・「かかりつけ医」を持ちましょう
- ・救急車を呼ぼうかどうか迷ったら
- ・災害への備え

3-2 かかりつけ医をもちましょう！

- 「かかりつけ医」をもつメリット
- ▶日頃の状態をよく知っていて体調の変化に気づきやすいため、病気の予防や早期発見・治療につながる
 - ▶病気や症状、治療法についての確かな診断やアドバイスをしてくれる
 - ▶必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれる



(注意！)

大病院に初診で受診をする際は、かかりつけ医や他の医療機関からの紹介状が必要です。紹介状の持参のない場合は、初診料等の診療費とは別に「選定療養費」として負担が生じる場合があります。

ケガや病気で困ったらいつでも相談！

救急安心電話相談窓口



◀「病院に行ったほうがいいのか」「救急車を利用したほうがいいのか」「どの病院で診てもらえばいいのか」など判断に迷った際、専門の相談員(看護師)によるアドバイスを受けられます。

年中無休
静岡こども救急
電話相談

受診した方がよいのか、様子を見て大丈夫なのか、看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは、局番なしの **#8000**

ダイヤル回線の固定電話、IP電話、固定電話の留守番電話サービス、携帯電話の留守番電話サービス、留守番電話の留守番サービスは、**054-201-9910** (緊急・療育の場合は、必ず「119」へ)

相談時間 **24時間**
平日 日曜・祝日



▲今診てもらえる医療機関、休日・夜間当番医情報を提供しています

◀こどもの急な発熱、怪我等でお困りのとき、周りに相談できる人がいなくて不安なとき、救急病院に受診させるべきか迷われている時、専門家である看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

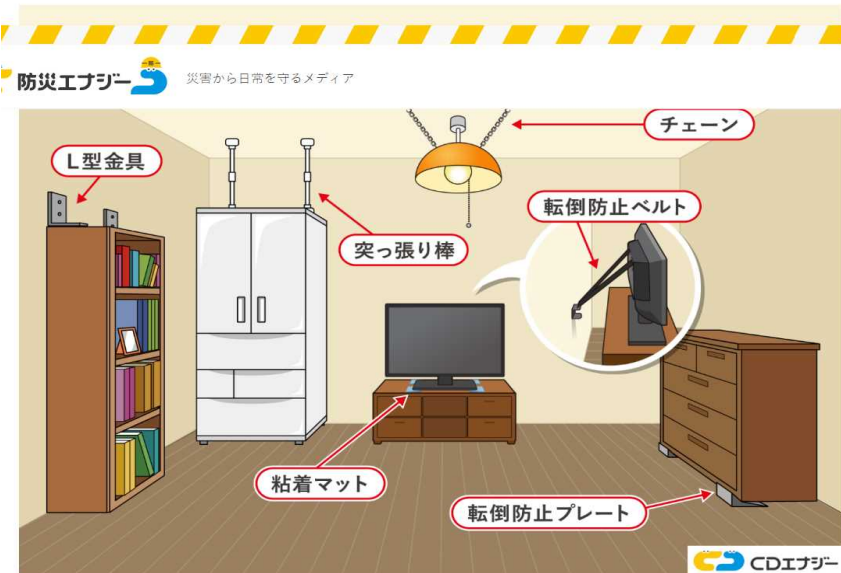
非常時の持ち出し品・備蓄品 チェックリスト

災害後の救助や救援物資の到着までに、最低限必要なものは準備しておきましょう。

ポイント
●非常持ち出し品は、両手を使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
●避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめておきましょう。
●自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
●自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
●定期的に中身をチェックしましょう。

貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭を含む) ※公共交通に10円玉、100円玉	<input type="checkbox"/> マスク
	<input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵	<input type="checkbox"/> ビニール袋
	<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど	<input type="checkbox"/> アルミ製保温シート
	<input type="checkbox"/> 銀行の口座番号・生命保険契約番号など	<input type="checkbox"/> 毛布
	<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> スリッパ
	<input type="checkbox"/> 身分証明書(運転免許証、パスポートなど)	<input type="checkbox"/> 軍手か皮手袋
	<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> マッチライター
	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳	<input type="checkbox"/> 給水袋
情報収集用品	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器を含む)	<input type="checkbox"/> 雨具(レインコート、長靴など)
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池を含む)	<input type="checkbox"/> レジャーシート
	<input type="checkbox"/> 家族の写真(はぐれた時の確認用)	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
	<input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先	清潔・健康のためのもの
	<input type="checkbox"/> 広域避難地図(ポケット地図でも可)	<input type="checkbox"/> 救急セット
	<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬
食料など	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> タオル
	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー
	<input type="checkbox"/> 防災ずきんかヘルメット	<input type="checkbox"/> 着替え(下着を含む)
便利品など	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池を含む)	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
	<input type="checkbox"/> 笛やブザー(音を出して居場所を知らせるもの)	その他
	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ	<input type="checkbox"/> 紙おむつ(幼児用・高齢者用など)
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 生理用品
		<input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶(赤ちゃんに必要なもの)
		<input type="checkbox"/> その他自分の生活に欠かせないもの

ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。



静岡県総合防災アプリ

静岡県防災

外出先、ここから一番近い避難場所はどこ？

「避難所」と「避難場所」の違いって何？

警報や注意報がでてる？

今ここは安全かな？

浸水する深さってどれくらい？

避難ルートはどこを通ろうか？